



# 家畜保健衛生所だより

R7.4.30

## 北海道で馬インフルエンザが発生！

4月25日、北海道帯広市のばんえい競馬場において、重種馬で馬インフルエンザの発生が確認されました。本病は、4月8日に熊本県で国内では17年ぶりに発生が確認されたばかりですが、先の事例との疫学的関連性については現在調査中です。

馬インフルエンザは感染力が非常に高く、感染馬の咳等による飛沫感染のほか、人の衣服や道具などを介して短時間で感染が拡大する恐れがあります。過去の発生時には馬の移動が制限や、種付けや競馬の中止など大きな影響が生じました。

飼養衛生管理の再確認・実践に加え、消毒を徹底し馬インフルエンザの侵入防止に万全を期しましょう！

首を伸ばし嘔吐姿勢で咳をする馬



中央畜産会 令和4年馬インフルエンザの発生・拡大を防ぐために より引用

### 1 ウイルスの持ち込みの防止・拡散防止

- 衛生管理区域への出入りの際の車両消毒の徹底、手指洗淨及び消毒、立入者に関する記録の作成及び保管
- 厩舎への出入りの際の靴の交換または消毒、手指洗淨及び消毒

### 2 早期発見・隔離

- 元気・食欲の低下、発熱、呼吸器症状等の異常がないか毎日確認
- 疑わしい症状を発見したら担当の獣医師または家畜保健衛生所に連絡
- 感染馬の隔離、同居馬の移動自粛、共有する器具等の消毒

### 3 ワクチン接種

感染を完全に防ぐことはできませんが、症状の軽減やウイルス排出量を減少させることができ、流行を最小限にすることが可能になります。

🐾 発生拡大防止には初期対応が非常に重要です。🐾

中予家畜保健衛生所 TEL 089-990-1333

携帯 090-6282-6129（夜間・休日）